

新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての緊急事態宣言への対応について アンケートWEB調査 最終集計結果 報告書

一般社団法人 日本総合健診医学会 理事長 福武勝幸
集計 学会事務局

施設会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、健診業務一時休止にご理解とご協力を賜りありがとうございます。また、お忙しい中、今回のアンケート調査に多数のご施設のご協力を頂いたことに感謝申し上げます。調査の締め切り時点で267施設からご回答を頂きましたので、結果をご報告申し上げます。

4月30日現在で、休止中または休止予定の回答を頂いた施設の99.0%(208/210)、回答総数の77.9%(208/267)において健診を休止していただいています。一方、これらの施設の多く(167施設)は緊急事態宣言の期間が終了する予定の5月6日からその翌週の11日までに健診の再開を予定されていたことが分かりました。しかし、5月4日に緊急事態宣言が全都道府県を対象に5月31日まで延長されることが発表されました。また、同時に基本的対処方針が改訂され、緊急事態措置が緩和されることになりました。これにより、13の特定警戒都道府県とその他の県の間で措置の緩和内容に差が設けられ、地域によって対応が異なる可能性があります。ただし、緊急事態措置が緩和されても、実際には以前と同じ状態での健診再開は困難であり、5月1日にホームページ上にお示したように、健診関連8団体が共同で作成した「健康診断における新型コロナウイルス感染症対策」に基づいてご施設の健診実施体制を整備していただき、さらに、医療面接、診察、結果説明、保健指導など対面時の感染リスクを低減する工夫を各施設で行い、地域の状況を踏まえた上で再開していただく必要があります。

今回のアンケート調査では、自由記載欄にも多数のご意見を頂きありがとうございました。ご意見は学会の活動に役立て、会員の皆様のご期待に応えられるよう努力させていただきます。

現在、休止中の特定健診・特定保健指導や健保連健診等任意型健診の再開へ向けて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえた適切な健診環境の整備と対策を健診関係団体が共同でまとめ、当学会としても健診再開の意義と必要性についてご理解いただくよう厚生労働省へお願いしているところです。各施設におかれましては、政府の対応と新型コロナウイルス感染症の動向を注視していただき、受診者の健康と施設職員の安全を第一に考えた注意深い健診の運営をお願い申し上げます。

アンケート実施概要

対象 本学会施設会員 411 施設
調査期間 2020年4月20日～4月27日
調査方法 メール配信による 無記名 WEB アンケート
回答数 267 施設
回収率 65.0%

新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての緊急事態宣言への対応についてのアンケート調査

会員の皆様におかれましては、日頃より学会の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。当学会では新型コロナウイルス感染拡大防止対策をお願いしてまいりましたが、この度、会員施設での健診休止状況について、緊急の調査を行わせていただきます。お忙しい所、恐縮ですが、2-3分で終了する内容ですので、是非、ご回答いただきたくお願い申し上げます。なお、本調査の集計結果は施設にフィードバックいたしますが、施設名を公表することはありません。また、本調査の回答は優良認定の更新とは関係ありません。

アンケート調査内容

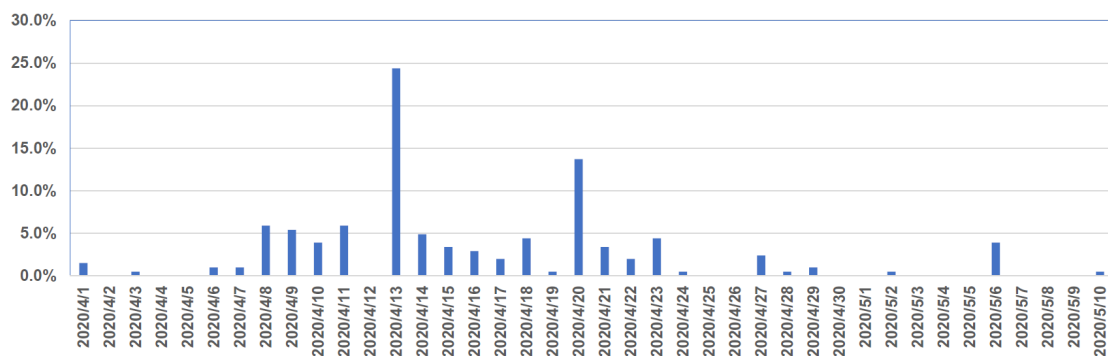
①施設所在地(都道府県)、②施設の運営状態(休止中、休止予定、継続中、その他)、③休止日、休止予定日、④休止業務内容、⑤継続施設の判断理由(自治体からの自粛要請がないため、個別契約先の要望、経済的理由、健診予約の延期が難しいため、その他)、⑥再開予定日、⑦再開予定日未定施設の再開日決定根拠、⑧新型コロナウイルス感染症への健診の対応についての情報確認状況(厚生労働省保険局 通知 令和2年4月8日、健康保険組合連合会(健保連) 事務連絡 令和2年4月9日、全国健康保険協会(協会けんぽ) 通知 令和2年4月9日、日本総合健診医学会 理事長通知、日本人間ドック学会 理事長通知)、⑨総合健診医学会のホームページの利用状況、⑩ご意見、ご要望、等

アンケートの結果(最終集計結果)

1)施設の運営状態(アンケート実施時の状況)

	施設数	% (回答時状況)	施設数 4/30 時点	% 4/30 時点
1.休止中	186	69.7%	208	77.9%
2.休止予定 (4/30 集計時点休止中)	24(22)	9.0%(8.2%)	2	0.7%
3.継続中	46	17.2%	46	17.2%
4.その他 (部分的休止を含む)	11	4.1%	11	4.1%
無回答	0	0%	0	0.0%
計	267	100%	267	100%

2)休止日、休止予定日 (205 施設から回答)



3)「休止中」または「休止予定」とお答えした施設の休止内容

休止内容	施設数
1.すべての健診契約の面接・診察・検査部分を中止、報告書送付・予約・相談等は継続実施	169
2.一部の健診契約を中止、そのほかは実施	6
3.健診業務を報告書送付・予約・相談等も含めて完全に休止	16
4.その他	11
5. 無回答	65

その他の回答の内容

	回答の内容
1	保健指導、結果説明、報告書送付以外はすべて休止
2	報告書のみ送付、それ以外休止
3	スタッフ健診のみ実施
4	個人の予約、延期の希望をされない方のみ実施中。報告書送付、予約、相談は実施中。
5	予約も全て中止
6	すべての施設健診
7	職員健診のみ実施
8	全ての健診業務休止
9	施設健診休止、巡回健診一部実施。報告書送付・予約は継続実施。
10	胃内視鏡検査
11	院内の職員健診のみ実施

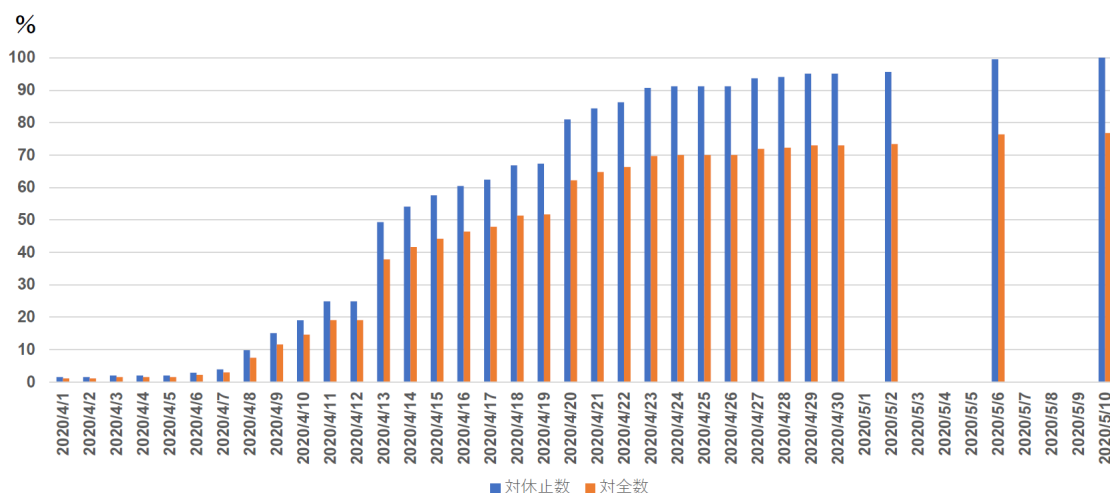
4) 継続中と答えた施設の判断理由

理由	施設数
1.自治体からの自粛要請がないため	10
2.個別契約先の要望	14
3.経済的理由	2
4.健診予約の延期が難しいため	8
5.その他	11

5) 5.その他の理由内訳

1	自治体からの休業要請がないため
2	厚生労働省・所属学会の通知を参考にし、現在は完全に休止するのではなく、保険者等よりの中止要請があった場合に、個別に対応しています。
3	会社や個人の要望が多いため
4	既に予約の入っている健診については実施、新規予約は5/6まで休止。 胃内視鏡検査と呼吸機能検査は休止しています。
5	協会けんぽの中止要請がない為
6	個人受診を受け入れているため
7	経済的、予約延期困難な為
8	日本人間ドック学会・全国健康保険協会では特別警戒都道府県以外の県について中止を要請されていない。
9	感染症対策を講じた上で実施可能とされているため。

6) 健診休止施設の割合(休止予定を含む)の変化 (休止・休止予定 205 施設、全回答 267 施設)



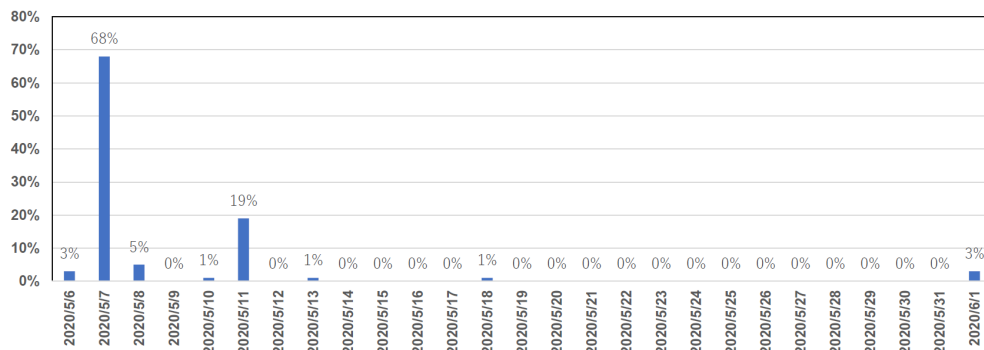
7) 再開予定日の有無

	施設数	割合
1. はい	176	66%
2. いいえ	36	13%
3. 無回答	55	21%
合計	267	100%

「いいえ」と回答した 36 施設の再開日未定の理由

理由	施設数
緊急事態宣言の解除により再開する。	28
緊急事態宣言が引き続き延長となった場合、資金繰りが厳しくなる。 感染者数やその他の状況を鑑み、経営者が最終判断する。 国・地方自治体の方針と、当施設内のスタッフ等の状況で決定する。 厚生労働省等からの通知をもとに院内で再開日を決定する。 感染状況をみて判断する予定です。 厚生労働省及び県の通達と新型コロナウイルス感染症の収束状況を勘案して決める。	8

「はい」と回答した 176 施設の再開予定日



8) 新型コロナウイルス感染症への健診の対応についての情報確認状況(複数回答可)

情報種類	確認施設数
①厚生労働省保険局 通知 令和2年4月8日	259
②健康保険組合連合会(健保連) 事務連絡 令和2年4月9日	224
③全国健康保険協会(協会けんぽ) 通知 令和2年4月9日	239
④日本総合健診医学会 理事長通知	261
⑤日本人間ドック学会 理事長通知	214

9) 総合健診医学会のホームページの情報を利用されていますか。

回答	施設数
1.はい	257
2.いいえ	10
無回答	0

「はい」と回答された施設、情報は役立っていますか。

回答	施設数
1.はい	252
2.いいえ	3
無回答	12

「いいえ」と回答された施設の情報を利用しない理由

	情報を利用しない理由
1	総合健診医学会より、メールで情報が配信されているため。
2	厚労省、メディアの情報の方が早い為
3	メールである程度の情報は届くから
4	貴学会からメールをいただくので、いただいたメールからHPも併せて利用しています

10)都道府県別の回答施設の運営状態（アンケート回答時の状況）

番号	都道府県	回答施設数	回 答 結 果 1.休止中、2.休止予定、3.継続中、4.その他(部分的休止を含む)					
			1	2	1+2	1+2 %	3	4
1	北海道	5	1	3	4	80	0	1
3	岩手県	1	0	0	0	0	1	0
4	宮城県	4	2	2	4	100	0	0
6	山形県	1	0	0	0	0	1	0
8	茨城県	9	6	1	7	77.8	2	0
9	栃木県	2	1	1	2	100	0	0
10	群馬県	4	3	0	3	75	1	0
11	埼玉県	10	7	0	7	70	3	0
12	千葉県	10	9	0	9	90	1	0
13	東京都	59	50	0	50	84.8	5	4
14	神奈川県	26	23	0	23	88.5	2	1
15	新潟県	5	0	0	0	0	4	1
16	富山県	4	2	0	2	50	2	0
17	石川県	2	2	0	2	100	0	0
18	福井県	3	2	0	2	66.7	1	0
19	山梨県	1	1	0	1	100	0	0
21	岐阜県	5	3	0	3	60	2	0
22	静岡県	7	2	3	5	71.5	2	0
23	愛知県	15	10	3	13	86.7	1	1
24	三重県	1	0	0	0	0	1	0
26	京都府	5	4	1	5	100	0	0
27	大阪府	32	26	1	27	84.4	3	2
28	兵庫県	6	4	0	4	66.7	2	0
29	奈良県	1	0	0	0	0	1	0
33	岡山県	5	2	1	3	60	2	0
34	広島県	13	6	5	11	84.7	1	1
35	山口県	1	0	1	1	100	0	0
36	徳島県	2	0	0	0	0	2	0
37	香川県	3	2	1	3	100	0	0
38	愛媛県	2	1	1	2	100	0	0
39	高知県	2	1	0	1	50	1	0
40	福岡県	10	10	0	10	100	0	0
42	長崎県	1	0	0	0	0	1	0
43	熊本県	1	0	0	0	0	1	0
44	大分県	3	0	0	0	0	3	0
47	沖縄県	4	4	0	4	100	0	0
	合計	276	184	24	208	—	46	11

回答; 1.休止中、2.休止予定、3.継続中、4.その他(部分的休止を含む)

11)施設会員からいただいたご意見（原文のまま列記させていただいております）

1. 緊急事態宣言期間の延長が決定した場合の対応方法を早期に頂きたくお願いいたします。
2. 再開予定日は5月7日としているが、状況によっては延びる可能性がある。
3. 今回の件では情報発信が一番早く、病院内での意思決定の方向性を決めるうえで大変役立ちました。
4. 非常事態宣言が延期となった場合、健診を延期せざるを得ない状況になると考えています。その際、資金繰りに困る健診機関もあると考えられ、資金調達も含めて情報発信していただくと助かります。
5. このアンケートにて再開予定日を確認していますが、少なくとも県内の状況は分かり次第、共有していただきたい。また宣言が延長された際にこの要請は対応していかなくてはいけないのか、教えていただきたい。
6. とりあえず5/7から再会予定だが、非常事態宣言の期間の延長があった場合は、更に中止期間を延長する可能性がある。
7. 健診機関として、検査実施における具体的な感染予防対策のアドバイスを頂ければ幸いです。
8. 予約業務についても休止中です。
9. 内視鏡検査の実施方法や検査の中止が望まれるものは総合健診医学会として対応を打ち出してほしい。健診機関による対応の統一のため。
10. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また上記通知により休業を行っているが経営的に厳しい。
11. 健診再開予定日を緊急事態宣言終了までとしていますので、延長された場合は、再開日も延期する可能性が大です。現時点では、5月7日以降の予約を承っています。
12. 緊急事態宣言期間終了後に健診を再開する場合の、学会としての方針やガイドラインなどの情報発信をいただければ幸いです。
13. 貴団体からメールで情報提供いただくのが、助かっています。
14. 5/7には要請があらうが再開します。そうでなければ潰れざるを得ず全ての職員が職を失います。また助成金も雀の涙なので、せめて現時点で健診業界にも自粛要請が出て、都からの助成も受けられる様に声を上げて下さい。当会では今月だけで2千五百万程度赤字が出ます。是非取り纏め機関として国に都に声を上げて下さい。宜しくお願いします。
15. 健診は不要でないが不急であると言われる方がいますが、間違いです。先に延ばすことにより全国で何人かの救える命が救えない事になると思います。
16. 健診営業については、各機関からの情報・通知を確認し自治体にも確認を取りながら、消毒・換気・人数に十分配慮し、休止要請が来ていない先かつご予約をすでにいただいていた受診者様のみ、実施しております。(4/21 現時点对応)
17. 日本総合健診医学会がいち早く、明確な対応・対策を含めて情報発信いただけましたので、経営判断を仰ぐベースとすることができました。引き続きお願いいたします。
18. 各施設の回答状況をお知らせいただくと再開にあたって参考にできます。
19. 5月6日に緊急事態宣言が解除されなかった場合でも健診を行っていくにはどうしたらよいか。学会として健診実施に向けたガイドライン等を出していただきたい。
20. 5月6日までの自粛要請期間が、仮に延長された場合の診療再開については、経済的な面もありどうしようかと懸念しています。再開後に受診者が密接・密集した状態での健診とならないよう、一回当たりの受付人数を減らし、その分受付時間数を増やすことや、対面が必要なフロント他はビニールシートで飛沫を軽減させるなど、対策を協議中です。
21. 必要な情報を適切な時期に送っていただき、ありがとうございます。他の健診施設の動向も参考としたいと考えておりますので、この件でのフィードバックも是非お願い致します。
22. 他施設の状況が知りたいです。
23. 宣言期間中であっても、健診や人間ドックを実施することを前提とした方策の検討が必要に思います。
24. 再開予定日は、緊急事態宣言が解除が延びれば、その分予定日も延びます。
25. どの施設さんも同じだと思いますが、新型コロナの影響で現場は大変混乱しています。学会から国・政府への働きかけを期待します。
26. 健康診断の再開日は、5月7日から予定ですが、緊急事態宣言が延長されれば、健康診断中止の延長もあります。
27. 学会より感染防止対策に従った事業継続の可否基準を提案してほしい。
28. 健診を再開(それ以降継続)をするにあたり、行政や貴学会からの各検査項目、及び健診全体に対する中止要請や中止指示等、タイムリー且つ適格に理解し当施設の運営に反映したいと考えています。
29. メール等で連絡を頂く際には、今以上に指示要請内容を分かりやすく連絡頂ければありがたく、引き続き情報の提供を宜しくお願いします。
30. 呼吸器検査、胃内視鏡検査等の飛沫を浴びる可能性の高い検査の取り止め判断を、施設ではなく学会や省庁にて明確(やるか、やらないか)に指示頂きたい。
31. 呼吸機能検査を今年度限定でも良いので、健保連項目からはずしていただく事は出来ませんか？
32. 受診者様の安全を第一に考えたうえで、新型コロナウイルス感染拡大防止のため肺機能検査の休止を決断いたしました。そのために健保連様との指定契約を一時休止しなければならぬことに関し、今までご利用いただいている健保様にご迷惑をおかけすることは本意ではなく、契約休止の理由が各健保様に明確に伝わるようにしていただけますよう、ご配慮をお願い申し上げます。
33. 健診自体を不要不急と解釈されているから、休止しなければならなくなっているのでは無いでしょうか。職員は他の医療機関と同じく感染に怯えながらも不要ではないと信じ従事しております。特定健診などは確かに不急かもしれませんが、しかし、学会としては人間ドック等の結果説明を遅滞なく確実に行うようまた、特に当日の結果説明を重要視されているのは、不急ではないと考えているのではないのでしょうか。一律休止というのは正直納得がいかず、この間、数人しか受けていない受診者の中で、本人自覚無く、急を要する受診者の方がおられました。
34. もう少し早くアップロードしてほしい。
35. 健診休診中の保証について、教えて欲しい。助成金が少なく経営が厳しくなり職員の保証もできなくなる可能性があります。
36. 自粛要請と休業補償をセットで提案していただくと幸いです。

以上